

日刊

産業新聞

Japan Metal Bulletin

2021年(令和3年)

1月5日(火)

第20109号
Since1936



丑年生まれの人鉄鋼



日鉄工材社長

宮原 光雄氏

新たなモノづくりに励む



リターダ累計30万台達成の記念写真
(最前列右から4人目が本人)

住友金属工業(現日本製鉄)入社後、研究所で26年間、製造所で8年間勤務し、昨年日鉄工材社長に就任した。強度評価技術を用いて、製鉄設備、発電用鋼管、排ガス用ステンレスなどの製品や設備の耐久性向上の研究を行い、製造所では交通産機品(鉄道、自動車分野)の技術開発や製造を統括した。全製品・設備に思いがあるが、中でも世界初の永久磁石式リターダ(大型

車用ブレーキ)を開発後、研究や製造などさまざまな立場で関わり、多くの仲間とともに累計生産30万台を達成した事は大きな喜びがあったという。「新たなものを実用化するには、関係者が思いを一つにして力を合わせる必要があることを経験した。この協働の経験が財産であり、人に恵まれた事に感謝している」と振り返る。

現在は会社を経営する立場となったが「人の力や思いの重要性は同じであり、今後も新たなモノづくりを通じて社会へ貢献して行く」と意気込む。元気の素は宝塚歌劇。多くの人の力を結集して創り上げる舞台に感動しつつ、朗らかで華麗な姿の陰には努力や鍛錬がある事を思い、モノづくりとの共通性を感じている。(61年11月22日生まれ、兵庫県出身)

1月15日

2021年
(令和3年)


金曜日

第19726号(日刊)

土、日曜・祝日は休刊

鉄鋼新聞

Japan Metal Daily

2021年  年男

人の力を集めてものづくり

住友金属工業(現日本製鉄)入社後、研究所、交通産業機械品の製造所で勤務し、昨年社長に就任。この間、多くの製品や設備の開発に携わった。研究から経営の全てにおいて重要なものは人の力や思いであり、皆で協働して新たなものを生み出す喜びを経験してきた。

振り返ると人に恵まれ楽しい日々を送らせて頂いている。関わって頂いた全ての方に心から感謝。今後も新たなものづくりを通じ社会への貢献を続けたい。

私生活では宝塚歌劇を楽しんでいる。多くの人の力を結集して創り上げる舞台に感動しつつ、朗らかで華麗な姿の背後には大変な努力や鍛錬がある事を思い、自分も頑張らねばと元気を頂いている。

(昭和36年11月22日生)

みやはら みつお
宮原 光雄氏

(日鉄工材社長)



宝塚大劇場前で